

合格のための学習法 第6回 ～週6学習に…ギアを入れ替えて～

緊急事態宣言の中で

ゴールデンウィークもなく、終わった感じがですね。

また、コロナが収束しているわけでもないため、不安な気持ちになったり、いろいろと落ち着かない日々かと思えます。

しかし、大切なことは、

自分が決めた目標に邁進していくことです。

「朝が来ない夜はない！」

これを信じて、やれることを淡々とやっていきましょう。

★ 社会保険労務士は、不況に強い資格です。

雇用調整助成金の話題を、ニュースなどでご覧になっているかと思いますが、中小企業を救うことができる、素晴らしい資格です。

これから不況になればなるほど

ニーズが高まります。

ぜひ、合格を勝ち取ることを優先に考えていきましょう。

■ 答案演習は、予習をして臨まないと、全く意味がない

答案演習には、必ず予習をして臨んでください。予習をして臨まないと、効果が半減します。

予習の際に威力を発揮するのが、過去問データベースが完成されたテキストです。個数管理まで行っていれば、ひたすら、その記憶ポイントをチェックしましょう。

もし、まだできていない方がいれば、過去問題から、テキストにフィードバックする作業を行っていきましょう。

いいですか、この段階では、「テキスト」→「過去問題」という順番ではなく

「過去問題」→「テキスト」です。

それまでの学習とは違い、忘れていることが多いことに愕然とするはずですが、

しかし、心配は無用です。

8月の勝負時期に何を何回繰り返すのか、今はその資料を整理する時期です。

★ 今覚えていなくても関係ない…勝負は本試験です…

★ やらなければならないことは、覚える範囲を確定する作業です…

○ 答案演習での注意点

答案演習では、無理に、答えを出さないことが肝心です。

過去問学習でも紹介したように、回答は

答案演習でも、「○」「×」「？」ですよ。

「？」を おろそかにしないことです。

★ 答案演習も ○ × ? が大切

■ 効果的な復習法

答案演習講座では、解説講義があります。答え合わせとともに、解説講義を聴いていくことになり。答案演習の復習では、重要なポイントがあります。

それは、ご自身の解答の結果を、過去問データベースが出来ているテキストにフィードバックすることです。

間違えた問題や「？」であった問題などをテキストにフィードバックしていきましょう。

そうすることにより、何が得られますか？

「過去の出題も多く、答案演習でも間違えた問題」というデータが追加されます。

Aランク(出題回数が多い)で、かつ、答案演習でも間違えた項目・・・これはあなたにとって、本試験での重要なポイントになります。そのデータを追加するのです。

これにより、弱点データベースが、テキストに追加されたことになります。

★ 答案演習により、弱点データベースを完成させる

○ 非常識合格法 → 答案演習問題は捨てる

「答案演習問題は、復習したら、捨ててください。捨てないと合格はありません。」

それほど、私は「捨てる」ことを重要視しています。「捨てる」ことをしないと、どんどん資料が増えていきます。

捨てる気持ちで復習する、これが大切なのです。

そうすると、復習も効果が上がります。

全問題を捨てるといっているわけではありません。間違った問題や法改正がらみの問題を切り取って、あとは、捨ててしまうのです。

答案演習が本当の意味で役に立つのは、法改正部分です。しかも、新設の条文に関しては、どのように出題されるのかのヒントになります。

それ以外は、所詮、過去問題の焼き直しと考えてもいいのでは？

これが、私の考えです。

★ 答案演習問題は、復習の際にセレクトし、後は捨てる

では、また 来月……